

平成 16年度全国大会

今、現場で何が起きているのか～建設専門業の挑戦～」

日時：平成 16年10月 7日(木) 13:30～16:30

場所：東京国際フォーラム ホールC (約1,100名参加)

主催：(社)建設産業専門団体連合会

後援：国土交通省、厚生労働省

協賛：(財)建設業振興基金 (独)勤労者退職金共済機構 (財)建設業福祉共済団 東日本建設業保証(株) 西日本建設業保証(株)
北海道建設業信用保証(株) (社)日本建設業団体連合会 (社)全国建設業協会 (社)日本建設業経営協会 (社)全国中小建設業協会
(順不同)

開催趣旨

建設が投資が縮小する中、建設業者数は依然として高水準であります。供給過剰傾向の中で受注量や利益率も低下、倒産が深刻化するなど従来にも増して厳しい状況であります。そんな中で、建設専門業界は、建設ものづくりの中核的担い手であり、根幹であります。業界を取り巻く環境は非常に厳しい状況ですが、建設業の根幹としての誇りを持って、現状の諸問題に真摯に取り組み、改善していくきっかけを、本大会は国民及び業界全体に提言するものであります。

開催概要

- ・ 第一部式典では、山崎善弘大会実行委員長の挨拶の後、来賓を代表して、国土交通省 蓮実 進副大臣、厚生労省 衛藤晟一副大臣、日建連 平島治会長からご挨拶を頂戴しました。
- ・ 第二部基調講演では、国土交通省前技監 大石 久和氏から、「公共事業は悪役なのか～国土学への挑戦～」をテーマに公共事業に対する日米の考え方の違いを例示しながら、「私たちは世界の民と競争している。世界に目を向け、将来の子孫のために競争に打ち勝つ資産を残さなければならない」と主張。国際競争力の基盤づくりに貢献する関係者の士気を鼓舞した。
- ・ 第三部パネルディスカッションでは、コーディネーターに日刊建設通信新聞社 西山代表取締役社長、パネリストに弁護士の大森氏、近畿建専連の北浦会長、全室協の高宮会長、全基連の梅田会長をお迎えし、大会タイトルの「今、現場で何が起きているのか～建設専門業の挑戦～」をテーマに、技術の空洞化、不透明な取引関係、施工管理のあり方などについて意見を交わした。
- ・ 大会は、梅田 巖大会実行委員の挨拶により閉会いたしました。

